

情報公開制度・個人情報保護制度の実施状況について

情報公開条例第33条および個人情報保護条例第27条の規定に基づき、平成17年度における情報開示の実施状況をお知らせします。

平成17年度は13件の開示請求があり、このうち情報公開に関するものが8件、個人情報に関するものが5件ありました。これらに対する開示の状況は全部開示9件、一部開示1件、文書不存在3件でした。

お問い合わせ

庶務課 文書法規係

☎62 - 2111(内線427)

種別	請求内容	決定内容
個人情報	個人の介護認定情報(3件)	全部開示
情報公開	戸籍謄本・住民票等の請求に係る申請書(3件)	文書不存在
情報公開	平尾山昆虫体験施設の設計図書に係る積算内訳書	全部開示
情報公開	花園団地階段滑り止め工事契約書	全部開示
情報公開	浅間中パラベット防水工事等の工事に係る書類	全部開示
情報公開	市長交際費一覧	一部開示
情報公開	中込学習センター整備に係る書類	全部開示
個人情報	市民課において請求した申請書	全部開示
個人情報	所得証明交付申請に係る代理人選任届	全部開示

夜間歩行者や自転車による 交通事故が多発

夕暮れ時や夜間は、道路横断中の歩行者や自転車が関係する交通事故が多発しています。

【歩行者の皆さんへ】

道路の横断は、信号交差点や横断歩道を利用しましょう。

横断中も車が近づいていないか、安全を十分確認しましょう。

夜間外出するときは、夜光反射材を活用し、ドライバーから目立つようにしましょう。

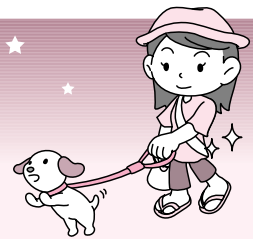
【ドライバーの皆さんへ】

見通しの悪い交差点では、必ず徐行や一時停止をして安全確認をしましょう。

夕暮れ時は、早めにヘッドライトの点灯に心がけましょう。

スピードの出しすぎには、十分注意しましょう。

シートベルトは命綱、運転者および後部席も含めた全同乗者が着用しましょう。



ハガキ等による 架空請求トラブルにご用心

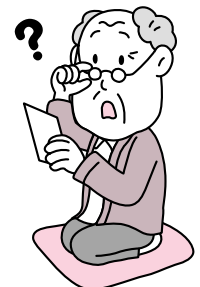
ある日突然、使った覚えのない請求を送りつけてくる架空請求の相談が後を絶ちません。請求内容が曖昧で、「裁判手続き」などの脅し文句が多用された通知にはあわてず、まず架空請求を疑いましょう。

対処方法は？

- 1 身に覚えのない請求は、相手に連絡することなく無視しましょう。
- 2 「裁判手続き」などの脅し文句は、相手に連絡させるための罠です。連絡をしたり、お金を支払ったりすると、さらにトラブルに巻き込まれます。
- 3 架空請求が家に届いたときに家族が連絡し、支払ってしまうことも考えられますので、家族で情報を共有しましょう。

無視できない請求は？

- 1 最近「裁判手続き」を悪用し、偽装するケースがありますが、裁判所からの通知は通常の書留や配達証明ではなく、「特別送達」という特殊な方法で配達されるので、区別ができます。
- 2 裁判所からの正式な通知が届いた場合は、無視すると不利益を被るおそれがありますので、最寄りの裁判所に相談しましょう。



困った、どうしよう？そんなときは一人で悩まず、早めに相談してください。

お問い合わせ先 ●上田消費生活センター(☎0268 - 27 - 8517)

- 佐久市役所生活環境課生活交通係(☎62 - 2111)
- 浅科支所住民課生活環境係(☎58 - 2001)
- 臼田支所住民課生活環境係(☎82 - 3111)
- 望月支所住民課生活環境係(☎53 - 3111)

シリーズ 環境教室

第3回 ~ 日本の二酸化炭素排出状況は? ~

前回のこのコーナーでは、地球の温暖化によって、今後どのような影響が出てくるのかを見てきました。

温暖化の原因とされているのは、二酸化炭素などの温室効果ガスと呼ばれるものだと言われています。

つまり、二酸化炭素の増加を抑えられれば、気温の上昇も最低限に抑えることができるわけです。今回は、現在の日本はどのくらいの二酸化炭素を出しているのか見ていきましょう。



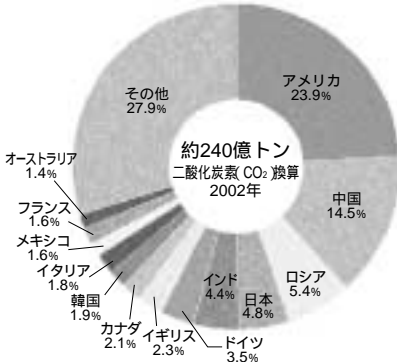
日本の二酸化炭素排出量は世界 4 位

二酸化炭素の排出量は、全世界を合計しても年々増えています。特にアメリカやヨーロッパ、日本などの先進国だけで、世界の半分近くの量を排出しているのです。その中でも日本は世界で4番目に多く排出しています。

世界の二酸化炭素排出量

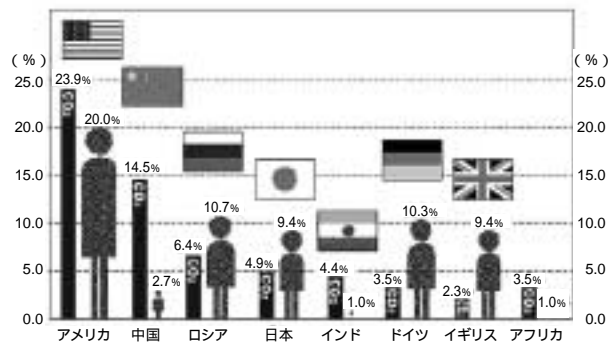
世界の二酸化炭素排出量

- 国別排出割合 - (2002年)



世界の二酸化炭素排出量に占める主要国の排出割合

と各国の一人当たりの排出量の比較 (2002年)



日本人はたくさんのエネルギーを使っているんだな

これらの表を見てもらうと、国別の二酸化炭素排出量は日本より中国のほうが多いし、インドと日本もそんなに変わりません。

でも、一人当たりの排出量だと、日本に住む人は、一人で中国に住む人の約3.5人分、インドに住む人の約9人分を1年間に排出しています。

アメリカやヨーロッパ、日本などの先進国に住む人が、地球温暖化の原因とされる気体をより多く出して生活していることがわかりますね。



温室効果ガスの増加が、地球温暖化の原因だとすると、このまま二酸化炭素の排出量が増えていったら、私たちや生き物の生活にさまざまな影響が出てきます。

そこで、二酸化炭素の排出を減らすべく、世界でもいろいろな取り組みが始まっています。次回は世界の国々が二酸化炭素を減らすために約束をした、「京都議定書」について見ていきましょう。

環境クイズ

エネルギーをたくさん使っているのは、どんな国でしょう?
(答えはこのページの右下)

- ① 少数の先進工業国が、世界全体の半分近くを使っている。
- ② 発展途上国が、経済を活発にするため、たくさん使っている。
- ③ 1人当たりの使用量はそう変わらないから、人口の多い国ほどたくさん使っている。

